

事 務 連 絡
令和 7 年 11 月 4 日

各 都 道 府 県 税 務 担 当 課 }
各 都 道 府 県 市 区 町 村 担 当 課 } 御 中

総務省自治税務局市町村税課

分煙施設に係る整備方針の策定及び整備状況等に関する
調査結果及び参考事例集の送付について

分煙施設整備に関しては、標記調査など様々な御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

標記調査の結果を別添のとおり取りまとめるとともに、各地方団体において分煙施設整備を進める上で参考にしていただくために昨年度作成した事例集を更新しましたので、調査への回答にご協力いただいた部署をはじめ、分煙施設整備に関係する部署に広く共有いただくようお願いいたします。これらも踏まえ、引き続き分煙施設整備への積極的な取組をお願いいたします。

市区町村担当課におかれましては、この旨を貴都道府県内市区町村に周知いただくようお願いいたします。

【問い合わせ先】

市町村税課 市町村税課 諸税係

電話：(03) 5253－5670（直通）

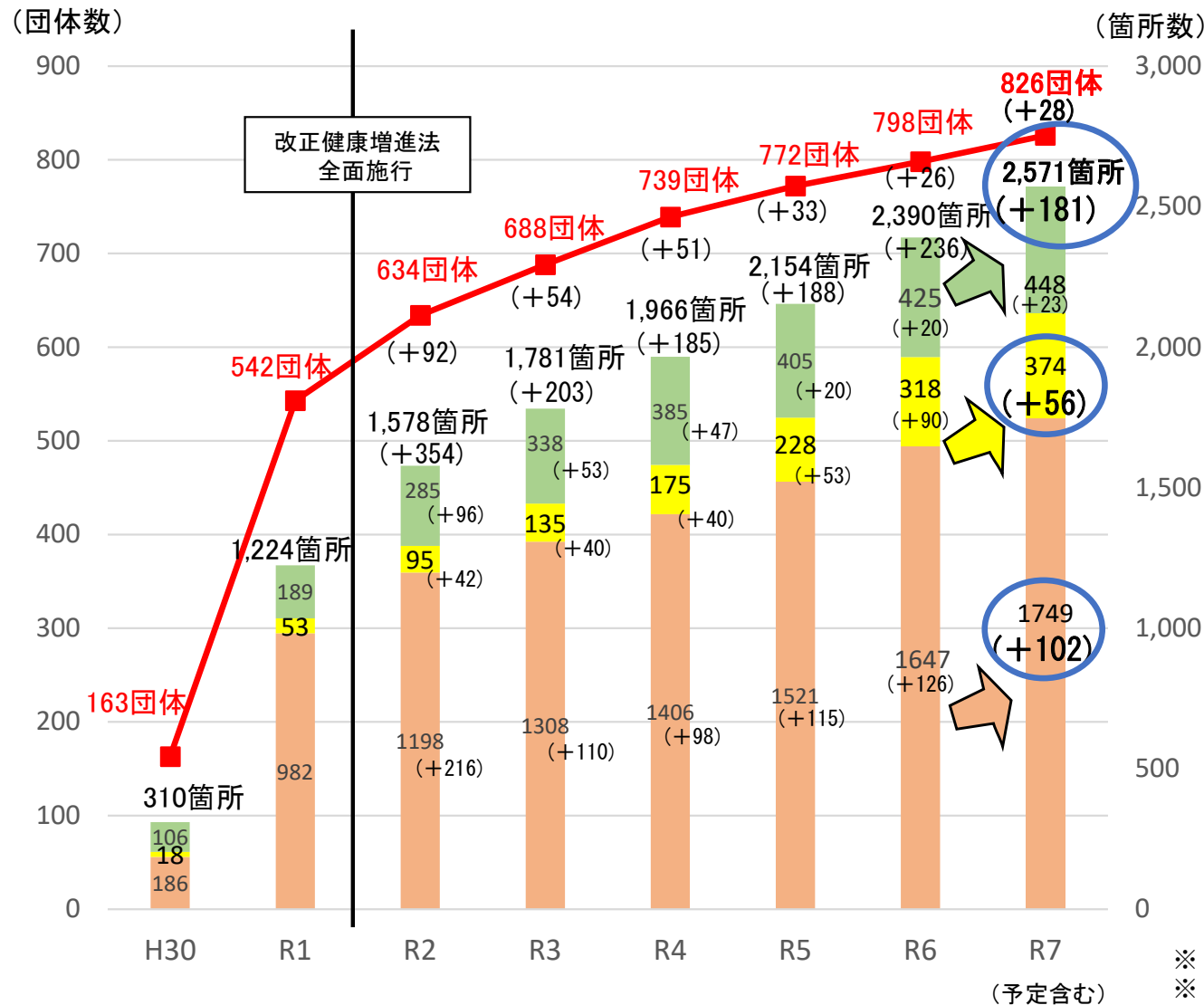
e-mail：sizei-tyousa@soumu.go.jp

分煙施設の整備に関する市町村の取組状況

別添資料

- 取組団体数は令和6年度比で増加。平成30年度から令和7年度において、全市区町村の5割近い826団体が分煙施設を整備。
- 整備箇所数は前年から181か所増加。近年の傾向として、民間事業者へ補助した事例が増加。

【分煙施設の整備団体数と箇所数の推移】（取組類型別、累積）



【市区の取組状況】

- 市区では50%以上の453団体が分煙施設を整備。
 - ・ 全815市区の55.6%
 - ・ H30からの累積整備箇所数は2,024箇所
- 特に人口が集中している政令指定都市、中核市及び特別区では、85%以上の90団体が分煙施設を整備。
 - ・ 全105市区の85.7%
 - ・ H30からの累積整備箇所数は1,037箇所

※（ ）は前年度からの増加分。

※ R5以前の数値については、R6調査で報告された修正を反映。

分煙施設整備による効果

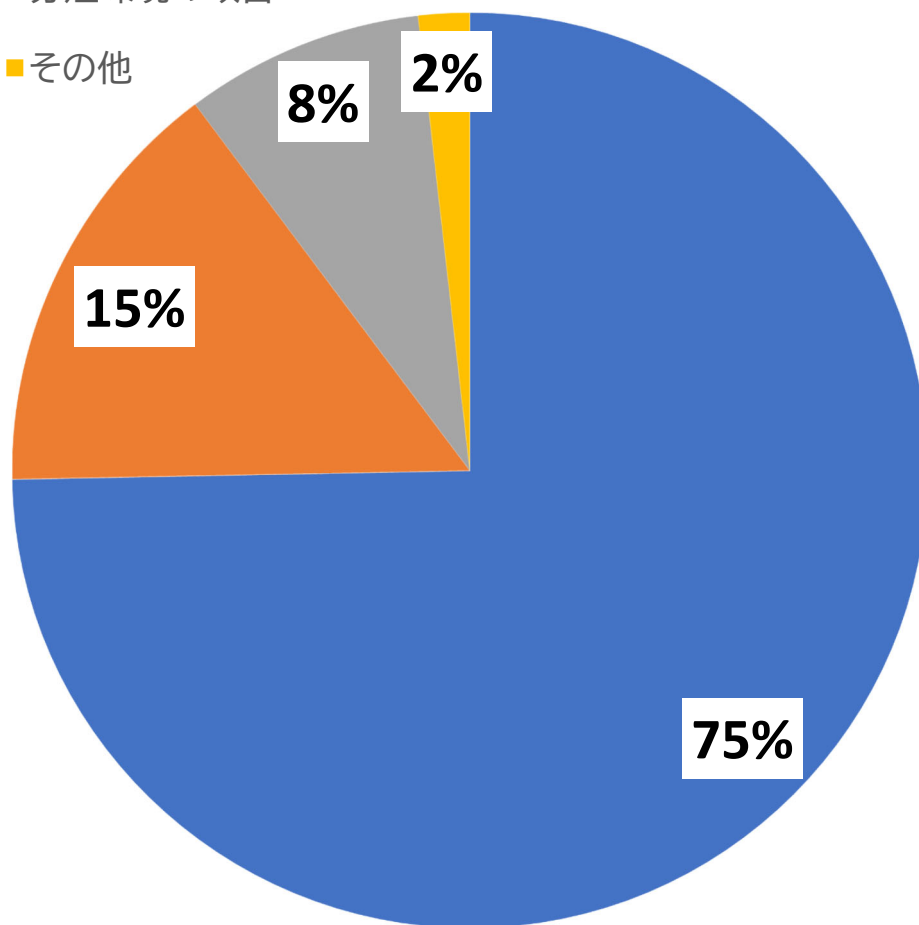
回答のあった
166件の分類

■ 路上喫煙(喫煙禁止場所での喫煙)の減少

■ ポイ捨ての減少

■ 分煙環境の改善

■ その他



【具体例】

○ 路上喫煙(喫煙禁止場所での喫煙)の減少

(三重県 四日市市)

禁煙区域での喫煙などルール違反が減った。

○ ポイ捨ての減少

(沖縄県 今帰仁村)

喫煙のマナーの向上やたばこのポイ捨てが減った。

○ 分煙環境の改善

(東京都 青梅市)

受動喫煙に関する苦情が減少した。

○ その他

(宮城県 川崎町)

整備により、清掃対応が容易になった。

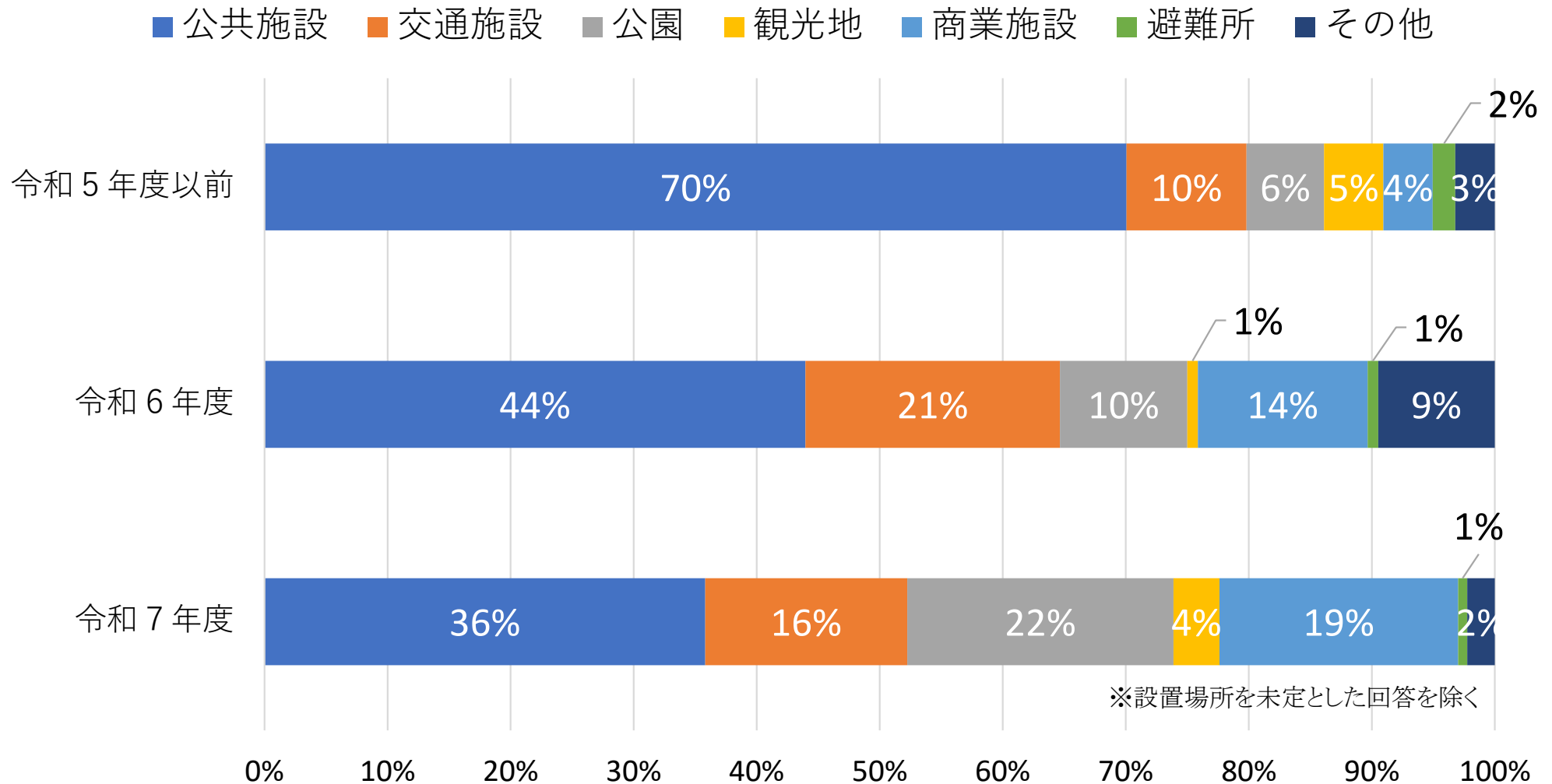
(岡山県 矢掛町)

施設利用者から利便性・満足度が向上したとの意見あり。

分煙施設の整備場所

○ 分煙施設の整備場所の傾向として、令和5年度以前は公共施設での整備が多かったが、令和7年度の整備においては公園並びに商業施設の整備事例が目立った。

【整備場所の構成比の推移】



分煙施設整備の事例集

令和7年10月

総務省 自治税務局 市町村税課

分煙以外の機能を付加した整備事例

1	堺市（大阪府）	駅前に防災機能を有する分煙施設を設けることで、防災拠点としての活用も視野に入れつつ、交通量の多い地点での分煙環境を整備
2	市原市（千葉県）	平時は喫煙者と非喫煙者の共存空間を構築しつつ、災害時は防災拠点となる場所として、防災情報等が閲覧できる分煙施設を整備
3	倉敷市（岡山県）	路上喫煙制限区域を設けた際に設置した指定喫煙所（灰皿のみの設置）に、防災情報を掲示したパーティションを整備
4	八尾市（大阪府）	市民に愛着を持ってもらい、災害にも備えるため、市民アプリや地元の名産である河内木綿の文様をPRしつつ、防災備品を格納できる分煙施設を整備
5	静岡市（静岡県）	「静岡市＝プラモデル」をPRするとともに、吸い殻入れとしての機能も果たす「灰皿プラモニュメント」を設置した分煙施設を整備
6	和歌山市 （和歌山県）	外国人観光客向けの多言語での案内板や、市民向けのイベントや市の取組等をPRする掲示板がある分煙施設を整備

分煙効果を強化した整備事例

1	八潮市（埼玉県）	従来のパーティション型の喫煙所から、より分煙効果の高いコンテナ型の分煙施設に変更して整備
2	吹田市（大阪府）	従来よりパーティション型の分煙施設を整備していたが、より良い分煙環境を構築するために、分煙効果が高いコンテナ型に置き換え整備
3	さいたま市 （埼玉県）	従来は植栽で仕切るだけの喫煙所だったところ、分煙効果が高い3.0mの高さを備えたパーティション型の分煙施設を整備

交通施設での整備事例

1	多摩市（東京都）	受動喫煙防止重点区域を指定した上で、たばこを吸う人と吸わない人が互いに配慮できる環境を整備するための分煙施設を整備
2	武蔵野市（東京都）	路上禁煙地区内の路上喫煙や吸い殻のポイ捨てを改善し、受動喫煙防止を進めるため、設置場所の変更が可能な喫煙トレーラーを整備

公園での整備事例

1	台東区（東京都）	公園内での子ども及び保護者の受動喫煙防止やたばこのポイ捨て防止のため、分煙施設を整備
2	京都市（京都府）	漏煙の苦情に対応し、街の環境美化を推進するため、過去に劇場が隣接していた歴史を踏まえ、分煙を啓発するアートを備えた分煙施設を整備

観光地での整備事例

1	松本市（長野県）	近隣地域で敷地内禁煙としたことにより松本城周辺で喫煙者が増加したことから、松本城の景観維持や喫煙場所確保を目的として分煙施設を設置
2	渋川市（群馬県）	温泉街に設置していた灰皿を撤去したところ、地元観光協会からの要望もあり、観光客が快適に過ごせる空間整備を実現するため分煙施設を整備
3	湖西市（静岡県）	道の駅に設置していた灰皿を撤去したが、利用者からの要望や環境への悪影響に配慮し、喫煙環境の整備や環境美化のため分煙施設を整備
4	内子町（愛媛県）	歴史的建造物を目当てとして観光客が訪れるスポットに、町内産の木材を利用しつつ景観への配慮もした分煙施設を整備
5	岩国市（山口県）	名勝である錦帯橋を訪れる観光客が数多くいるため、景観と生活環境を保全するために分煙施設を整備

避難場所での整備事例

1	能代市（秋田県）	指定緊急避難場所である道の駅で、ポイ捨てによる火災の防止や受動喫煙への対応として、コンテナ型の分煙施設を整備
2	新宿区（東京都）	避難所に指定されている公園内に、利用者の受動喫煙防止のため、防災機能を備えた分煙施設を整備
3	一宮市（愛知県）	補助避難所としても指定されており、適切な分煙環境を確保するために従来の施設をパーティション型へ更新

民間への助成事業による整備事例

1	名古屋市（愛知県）	望まない受動喫煙を防止するため、民間事業者が市内において誰もが利用できる屋外の分煙施設を設置する場合に、その事業費を助成
2	大阪市（大阪府）	喫煙者と非喫煙者が共存できる環境整備を図り、市民等の安心、安全及び快適な生活環境の確保を行うため、民間事業者による喫煙所設置を補助

駅前に防災機能を有する分煙施設を設けることで、防災拠点としての活用も視野に入れつつ、交通量の多い地点での分煙環境を整備 ※民間事業者からの寄贈によるもの

【堺駅前】



平時は喫煙者と非喫煙者の共存空間を構築しつつ、災害時は防災拠点となる場所として、防災情報等が閲覧できる分煙施設を整備 ※民間事業者からの寄贈によるもの

【五井駅前】



路上喫煙制限区域を設けた際に設置した指定喫煙所（灰皿のみの設置）に、防災情報を掲示したパーティションを整備。

【倉敷駅前】



市民に愛着を持ってもらい、増え続ける災害にも備えるため、市民アプリや地元の名産である河内木綿の文様をPRしつつ、防災備品を格納できるコンテナを備えた分煙施設を整備。

【八尾駅】

（市民アプリ、河内木綿のPR）



（防災備品格納用コンテナ）



「静岡市＝プラモデル」をPRするとともに、吸う人と吸わない人の双方が気持ちよく過ごせる社会の実現を目指して、吸い殻入れとしての機能も果たす「灰皿プラモニュメント」を設置した分煙施設を整備。

【静岡駅前】



外国人観光客向けの多言語での案内板や、市民向けのイベントや市の取組等をPRする掲示板がある分煙施設を整備。

※民間事業者からの寄贈によるもの

【和歌山駅前】



（出所）和歌山市への聞き取り等により作成

望まない受動喫煙を生じさせない場所とするため、従来のパーティション型の喫煙所から、より分煙効果の高いコンテナ型の分煙施設に変更して整備。

【八潮駅前】



従来よりパーティション型の分煙施設を整備していたが、より良い分煙環境を構築するために、分煙効果が高いコンテナ型に置き換え整備。 ※民間事業者からの寄贈によるもの

【江坂公園】



（出所）吹田市への聞き取り等により作成

従来は植栽で仕切るだけの喫煙所だったところ、分煙効果が高い3.0mの高さを備えたパーティション型の分煙施設を整備

【東大宮駅】



（出所）さいたま市への聞き取り等により作成

受動喫煙防止重点区域を指定した上で、たばこを吸う人と吸わない人が互いに配慮できる環境を整備するための分煙施設を整備。

令和元年10月1日施行

多摩市受動喫煙防止条例

安心して いきいきと 暮らせるまちづくり

誰もが健康で幸せでいられる健康都市（スマートウェルネスシティ）を目指し、多摩市受動喫煙防止条例を制定しました。

守ります

たばこの煙による健康影響から市民を守ります。

禁煙場所

- 公園の敷地内（例外時あり）
- 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の敷地内とその敷地に隣接する路上
- 市が管理する施設とその施設に隣接する路上

応援します

禁煙を希望する市民を応援します。

令和元年10月1日より、禁煙台敷費助成を開始します。（市内在住の20歳以上の方）

整備します

たばこを吸う人と吸わない人が互いに配慮できる環境を整備します。

- 受動喫煙防止重点区域を新たに指定
- 市内4駅に設置している喫煙スポットを整備

取り組みます

たばこの正しい知識の普及・啓発に取り組みます。

喫煙や受動喫煙の健康影響について正しく理解できるよう普及啓発に努めます。

東京 2020 大会に向け、たばこを吸う人も吸わない人も、快適に過ごせる駅の環境を創出し、東京都受動喫煙防止条例を昨年6月に策定しました。段階的に施行し、2020年4月1日に全面施行します。

第一段階として、喫煙ができる場所を喫煙する際、受動喫煙を生じさせることがないよう周囲の状況に配慮しなければならない等、都民の健康の保護を定めています。高層に関する規定は、平成31年1月1日に施行しました。

第二段階として、令和元年7月1日からは、幼稚園・保育園、小・中・高等学校、児童福祉施設、病院、行政機関の庁舎を重点的に整備する規制を施行しました。

第三段階として、令和元年9月1日から駅周辺の駅内環境状況を駅前に表示することを義務化しました。

詳しくはこちらをご覧ください。
多摩市公式ホームページ▶▶▶

問合せ 多摩市立健康センター
(042-376-9111)

【唐木田駅前】



改正健康増進法施行に伴い、駅前周辺エリアの喫煙可能な場所が限定されることになり、まちの環境美化への影響と受動喫煙の増加が懸念されることから、路上禁煙地区内の路上喫煙や吸い殻のポイ捨てを改善し、受動喫煙防止を進めるため分煙施設を整備。

【三鷹駅北口】



- ・喫煙トレーラーハウスは屋外に設置でき、けん引可動式のため設置場所が変更可能。
- ・普段は人の集まりが少ないが、イベント等の開催時には人が多く集まることが想定される場所に移動させて活用することが可能。

（出所）武蔵野市HPや市への聞き取りにより作成

【吉祥寺駅】



【武蔵境駅】



区として、屋外における分煙の促進とたばこのポイ捨て等の防止のために、公衆喫煙所整備を推進している中で、近隣住民からの要望もあり、公園内での子ども及び保護者の受動喫煙防止等のために分煙施設を整備。

（ 外 観 ）

（ 内 観 ）

【金竜公園内】



【隅田公園内】



周辺店舗からの漏煙の苦情に対応し、路上喫煙やポイ捨ての予防などの街の環境美化を推進するため、過去に劇場が隣接していた歴史を踏まえ、分煙を啓発するアートを備えた分煙施設を整備。

【新京極公園】



改正健康増進法施行に伴い松本城に隣接する松本市役所の敷地内を全面禁煙にしたが、周辺の喫煙者が増加したため、観光施設でもある松本城周辺の景観維持及び観光客や市民が喫煙できる場所の確保を目的として分煙施設を整備。

また、設置場所については、観光目的や憩いの目的で松本城周辺を訪れる観光客や市民に受動喫煙が生じないように、一定のスペースが確保できる場所を総合的に考慮。

【松本城公園】



（出所）松本市HPや市への聞き取りにより作成

改正健康増進法施行に伴い、温泉街周辺の灰皿を撤去したが、地元観光協会からの要望もあって、観光客に快適に過ごしてもらえるような空間整備を実現するため、分煙施設を整備。

※民間事業者からの寄贈によるもの

【伊香保温泉石段アルウィン公園】



内 観



外 観

改正健康増進法施行に伴い、道の駅の灰皿を撤去したが、利用者からの要望や環境への悪影響に配慮し、喫煙環境の整備や環境美化のため分煙施設を設置。

※民間事業者からの寄贈によるもの

【道の駅 潮見坂】



歴史的建造物を目当てとして観光客が訪れるスポットに、町内産の木材を利用しつつ
景観への配慮もした分煙施設を整備。

※民間事業者からの寄贈によるもの

【護国駐車場】



（出所）内子町への聞き取りにより作成

名勝である錦帯橋を訪れる観光客が数多くいるため、景観と生活環境を保全するために分煙施設を整備。

【錦帯橋バスターミナル】



（出所）岩国市の資料等により作成

指定緊急避難場所である道の駅で、木造建築であるためポイ捨てによる火災の防止や、キッズコーナーが隣接するため受動喫煙への対応として、コンテナ型の分煙施設を整備。

【道の駅 ふたつい】



改正健康増進法施行により屋内が原則禁煙となったことで、公園内での喫煙者が増加したため、公園利用者の受動喫煙防止のため分煙施設を再整備。

避難場所に指定されている公園でもあるため、防災機能（パーテーションの外壁と内壁に防災に関するメッセージを掲出、防災倉庫を設け、災害用トイレで使うトイレットペーパーを保管）を備えた形で整備。

【新宿中央公園】



一宮総合体育館は大きなスポーツ大会も開かれる会場であり、多くの来客が居るところ、補助避難所としても指定されており、適切な分煙環境を確保するために従来の施設をパーティション型へ更新。

【一宮総合体育館】

（更新前）



（更新後）



屋外分煙施設の普及を図り、屋外の分煙対策を推進することで、望まない受動喫煙を減らし、子どもの健やかな育ちを支援するとともに、市民の健康で快適な生活の維持を図るため、民間事業者による屋外分煙施設の設置に対して助成事業を実施。

助成のあらまし

助成対象

- ・助成の対象者：名古屋市内の土地又は建物を所有若しくは使用する事業者又は団体
- ・助成の対象施設：設置場所が名古屋市内にあり、施設の全部の場所を喫煙場所とする屋外の分煙施設

助成の種類

- ・設置費用助成：屋外分煙施設の設置（既存施設を改修する場合等を含む。）にかかる経費
- ・運用費用助成：上記の助成金により設置した都心部の「重点整備区域内」の施設の運用にかかる経費

助成額等

- ・設置費用助成：助成率10分の10 限度額 300万円（設置年度のみ）
- ・運用費用助成：年間144万円（設置翌年度から最大5年間）

設置費用助成に係る助成対象経費

- ・パーティション、コンテナの購入、設置等に係る経費
- ・屋外分煙施設とあわせて設置することが必要であると認められる防犯カメラ等付属物の購入、設置等に係る経費
- ・屋外分煙施設の管理に必要と認められる灰皿、清掃中であることを示す看板等備品の購入経費

（出所）名古屋市HPより作成



民間事業者による喫煙所の整備等を促進し、喫煙者と非喫煙者の共存できる喫煙環境の整備を図り、市民等の安心、安全及び快適な生活環境の確保を行うため、喫煙所の設置等に係る経費を補助。

1 補助対象となる喫煙所

「[大阪市指定喫煙所整備にかかる指針](#)」及び「[大阪市指定喫煙所指定制度実施要綱](#)」の基準を満たす、大阪市の指定喫煙所として指定又は指定を予定する喫煙所

2 補助の概要

新たに喫煙所を整備する場合（新規整備）

- 補助率 100パーセント
- 喫煙所設置経費 上限額 1,000万円（地下施設については2,000万円）
（排気設備や空気清浄機・空調設備、灰皿や椅子などの備品にかかる経費など）
- 維持管理経費 年間上限額 144万円
（清掃・ごみ処理委託費、設置機器の保守点検委託費や、光熱水費など）

既設の喫煙所を改修する場合（改修整備）

- 補助率 100パーセント
- 喫煙所改修経費 上限額 300万円
（上記「新たに喫煙所を整備する場合（新規整備）」と同等の設備等の改修工事費、備品の購入費など）
- 維持管理経費 年間上限額 48万円
（清掃・ごみ処理委託費、設置機器の保守点検委託費、光熱水費など）

【杭全町バス転回地喫煙所】



（出所）大阪市に聞き取り作成